要請番号（JL23324A01）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
グアテマラ	C108 土壌肥料		個別	新規	2年	・2024/3・2025/1・2025/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

農牧食糧省

2）配属機関名（日本語）

農牧食糧省アルタベラパス県事務所

3）任地（ アルタベラパス県コバン市 ） JICA事務所の所在地（ グアテマラシティ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ﾊﾞｽで 約 5.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

農牧食糧省は全国各県に事務所を置き、農牧業従事者にかかる指導、監督を行っている。2012年に中央政府により発表された国家総合農村開発政策に基づき、生活改善や農村開発等を行う普及員を全国各市に配置し、普及員を通して小規模生産者を対象に、技術指導、栄養改善、衛生、収入向上等の講習会を実施している。現在アルタベラパス県事務所の管轄下には17市に487の住民学習グループが存在し、88名の普及員が各市で農業技術や生活改善技術の普及を実施している。同県事務所による隊員要請は初となるが、他県の事務所では現在、栄養士、土壌肥料、果樹栽培、野菜栽培(2名)の隊員が活動中である。

【要請概要】

1）要請理由・背景

アルタベラパス県では長年にわたり貧困や低栄養問題が続いており、野菜・果樹栽培は地域の社会経済の発展における重要な産業である。配属先では農業普及員を通して小規模農家や住民学習グループへの栽培技術および生産物販売に至るまでの支援を行っている。しかし普及員の土壌改良の知識と経験が不足しており、農家に対して適切な技術指導ができていない。そのため、土壌の調査・分析方法、および肥料の有効な利用方法などに関する技術協力を求めて本要請が出された。地域の主な生産物は、アボカド、レモン、バナナ、ニンジン、タマネギ、トウモロコシなどに加え、コーヒー、カルダモン、カカオ等も挙げられる。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先の農業普及員と協力し、5つのパイロット市において以下の活動を行う。
1. 普及員を対象とした、身近な材料を用いた土壌分析方法の研修
2. 巡回調査において、身近な材料を使用した土壌調査、および課題の抽出
3. 身近にある有機材料を利用した堆肥、ボカシ肥、液肥作りの紹介と導入促進
4. 住民学習グループを対象とした各種ワークショップの実施

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、プリンター、ノートパソコン、事務用品一式

4）配属先同僚及び活動対象者

・配属先事務所長(50代、男性)
・普及コーディネーター(60代、男性)
・各市に配属されている普及員(各市に3名:男性2名、女性1名)
・活動対象者:域内の農業普及員、住民学習グループのメンバー、農家、大学生など

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
スペイン語	スペイン語	英語(レベル:C)又はスペイン語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（大卒）農学系　備考：同僚に指導する立場にあるため

[経験]：（実務経験）3年以上　備考：同僚に指導する立場にあるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）　気温：（12～28℃位）　[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）　[水道]：（安定）

【特記事項】

・住居はホームステイを基本とする。
・農牧食糧省のHPはこちら

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.